

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	文化観光国際部 国際課	江口 信
施策名	6 国際交流と平和発信の推進	事業群関係課(室)	漁政課	
事業群名	① 国際交流の推進	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額 47,494	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画テュンジ&チャレツジ2025 本文)		(取組項目)							
長い交流の積み重ねにより培われた友好交流関係や人的ネットワーク等を活かして海外との交流を拡大するとともに、市町や関係団体等と連携した交流活動の支援や地域で活躍する国際人材の育成を図ることにより、地域における幅広い分野での国際交流を推進していきます。		i) 友好都市等との関係強化と相互交流の拡大 ii) 地域における多文化共生の推進 iii) 民間団体等が取り組む先駆的な国際交流活動への支援							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	県民等が参加した国際交流事業の開催件数	目標値①	26回	29回	32回	35回	38回	38回(R7)	
		実績値②	23回(H30)						
達成率②/①								—	
県民等が参加する国際交流事業、各種講座・イベント等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での交流は一部延期や中止になっているものもあるが、感染防止対策に万全を期した上で実施している。また、オンラインでの交流を行うなど、ポストコロナを見据えた取組を進めているところであり、引き続き、長い国際交流の歴史で培った海外との友好関係やネットワークを利活用しながら、地域における多様な分野での国際交流を推進していく。									

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和2年度事業の成果等	
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R元目標	R元実績		達成率
				R2実績					R2目標	R2実績		
				R3計画	R3目標							
事業実施の根拠法令条項			事業実施の根拠法令条項									
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	事業対象								
所管課(室)名												
取組項目1	○	1	東アジア相互交流推進事業費	6,855	6,855	6,363	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、予定していた5事業の実施が困難になったが、実施方法をオンラインに見直したことで、2事業を実施できた。	【活動指標】	5	2	40%	●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染症で対面での交流ができない状況においても、オンライン上で3都市(長崎県・上海市・釜山広域市)交流担当課長会議を開催し、今後のトライアングル交流の促進について合意できたほか、音楽文化交流事業(オンライン)の開催など3ヶ国間での交流ができた。
				1,979	1,979	10,727		R元.2:各種交流事業実施数(回)	5	2	40%	
				18,884	14,858	33,202		R3-:歴史・文化を活用した各種事業の実施数(件)	6			
			H27-					【成果指標】	1	0	0%	
国際課				県民・中国・韓国の国民	R元.2:3地域国際担当課長級によるトライアングル交流促進の合意形成(件)	1	1	100%				
					R3-:友好都市等との連携事業数(件)	6						

取組項目 i	2	日韓海峡沿岸交流事業費	3,545	3,545	7,974	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、日韓海峡沿岸地域の発展に向け、継続的な連携性のある取組を推進するため、オンライン上で日韓8県市道の首長が集まり、2020日韓海峡沿岸県市道知事オンライン会議を実施した。(10/27)</p> <p>上記会議では、新型コロナウイルス感染症に関する各県市道の取組事例発表や共同声明文の発表を行った。</p>	【活動指標】	幹事会3回 実務会議2回	幹事会3回 実務会議2回	100%	<p>●事業の成果</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で対面での会議はできなかったものの、オンラインでの会議を開催し、新型コロナウイルスへの取組みについて情報共有・協力することに同意し、ポストコロナ時代の新しい国際交流について互いに協力していくことを共同声明として発表した。</p> <p>・また、オンラインでの協議が中心であったが、これまで以上に協議、情報共有等を行ったことで、両国の友好関係を高めるとともに、本県の認知度も高めることができた。</p>	
			0	0	8,051		幹事会3回 実務会議2回	幹事会3回 実務会議1回	80%			
			3,264	3,264	8,081		幹事会3回 実務会議2回					
		H4-	—					【成果指標】	合意事項 4項目	実現項目 4項目		100%
	国際課	—			日韓海峡沿岸8県市道	日韓海峡沿岸県市道 交流知事会議における 合意事項の実現	合意項目 3項目	合意項目 2項目	66%			
	3	中国友好都市周年記念 事業費	/			<p>本県と上海市との友好交流関係樹立25周年及び湖北省との友好交流関係樹立10周年を記念し、本県と中国における人脈等の関係強化並びに経済、文化、観光等の一層の交流促進を図るため、各種記念事業を実施する。</p>	【活動指標】	/				
			11,797	11,797	15,706		記念事業の開催数 (回)	3				
		(R3新規)R3	—				【成果指標】	/				
	国際課	—			長崎県民及び中国国民	記念事業の参加者数 (人)	200					
	4	日中・日韓水産関係交流 促進事業	3,527	3,527	8,455	<p>韓国1市3道(釜山広域市、慶尚南道、全羅南道、済州特別自治道)との交流は新型コロナウイルスの影響により順延となったが、中国福建省・浙江省とは、オンライン会議等により、水産技術者、行政担当者などの水産関係者による地域レベルの交流事業を実施した。</p>	【活動指標】	R元: 魚類種苗共同 放流(尾)	2,000	2,000		100%
			1,031	1,031	8,317		R2: 魚類種苗共同放 流(尾)	2,000	0	0%		
			3,710	3,710	8,348		R3: 漁業者が参加し た親睦交流の実施回 数(回)	1				
H16-			—				【成果指標】	継続の必要性あり	継続の必要性あり	—		
漁政課		—			韓国南岸1市3道福建省浙江省	知事会議における評 価、総括意見	継続の必要性あり	継続の必要性あり	—			
取組項目 ii	5	長崎県ゆかりの外国人 ネットワーク推進事業費	3,303	3,303	2,386	<p>本県ゆかりの外国人(留学生、JETプログラム参加者、駐在員等の長崎県在住の外国人を含む)を対象として、県内の旬な情報を5カ国語(日、英、中、韓、越)で発信するなど、本県に関する有用な情報の提供を行った。</p>	【活動指標】	1,800	1,878	104%		
			4,190	4,190	2,347		会員数(人)	1,900	1,987	104%		
			3,532	3,532	2,355		【成果指標】	2	2	100%		
		H20-	—				アンケートの県の施 策の反映数(件)	2	2	100%		
	国際課	—			県内外の本県ゆかりの外国人							
取組項目 iii	6	国際交流関係連絡調整 費	9,426	9,426	5,568	<p>福建省、上海市、湖北省、釜山広域市をはじめ、中国・韓国両国との友好交流促進のため各種連絡調整を行った。</p> <p>長崎県日中親善協議会が実施する日中友好交流事業等に対し支援を行った。</p>	【活動指標】	10	11	110%		
			6,519	6,519	1,792		助成事業実施件数 (件)	9	6	66%		
			9,537	9,537	1,798		【成果指標】	20	23	115%		
		S48-	—				訪中、訪韓、訪日団 体数(団体)	20	0	0%		
	国際課	—			中国・韓国の自治体等、長崎県日中親善協議会							

取組項目 ii	7	海外技術研修員受入事業費	4,332	4,332	2,392	将来、派遣元国の経済開発と繁栄に貢献しうる人材を養成するとともに、県民との交流を通じて相互理解、友好親善の促進を図ることを目的として、海外からの研修生を本県で受け入れているが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、研修員の受入ができなかった。	【活動指標】 海外技術研修員の受入人数(人)	2	2	100%	●事業の成果 ・コロナ禍により、県内企業への研修員受入ができず、事業の成果をあげることができなかった。 ・派遣元国の経済開発等に貢献しうる者との関係の構築および県民との交流の機会を創出することで、本県の国際交流促進に寄与している。	
			200	200	2,348			2	0	0%		
			4,826	4,826	2,356			0				
		—			【成果指標】 受入機関の満足度(%)			80	90	112%		
	S48-			80		0	0%					
	国際課	—	—	—	海外技術研修員	0						
	8	語学指導等外国青年招致事業費	28,640	0	4,772	語学指導や翻訳・通訳等を行う外国青年を招致し、地域における国際化の推進を図った。	【活動指標】 県国際交流員による講座の開催数(回)	36	28	77%		●事業の成果 ・令和2年度は、県内で合計206名を受け入れ予定だったが、新型コロナウイルスの影響により、市町配置の国際交流員(CIR)の1名のみを受け入れにとどまった。 ・JET青年の増加は、県民の外国人と交流する機会の増大や海外とのネットワークの拡大につながるものであり、本県の国際交流促進に寄与している。
			20,806	0	2,347			36	9	25%		
			33,124	0	2,355			36				
		—			【成果指標】 県国際交流員による講座の受講者数(人)			540	776	143%		
	S62-			540		83	15%					
	国際課	—	—	—	語学指導等を行う外国青年(JETプログラム参加者)	540						
9	地元で頑張る国際人材育成・活用プロジェクト推進事業費	6,927	6,872	4,305	「世界へこぎだせ！長崎っ子応援事業」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、「おもてなし英会話講座」については、対面式からオンラインへ変更のうえ実施し、地元で頑張る若者の育成及び国内外において本県応援団となり得る人脈を構築し民間におけるアジア・国際戦略の担い手を育成した。	【成果指標】 R元:「こぎだせ」及び「ブレイクスルー」で支援した日本人学生数(人)	20	17	85%	●事業の成果 ・県内高校生34名を対象に、おもてなしに特化した仕事で使える英会話講座を開講し、実践的な英会話の基礎スキルを向上させることで、将来の県内観光・サービス関連企業就職への意識を高めることができた。 ・県内の学生に、インバウンド背景知識や異文化理解を踏まえ、長崎の魅力を英語で発信するスキルとノウハウを身につけさせ、国際的視野を広げることによって、県内の国際人材育成に寄与した。		
		219	219	2,347			R2.3:当該プロジェクト事業で支援した日本人学生数(人)	25	34		136%	
		4,698	4,198	2,355			25					
	—			【成果指標】 支援学生のうち県内就職した割合(%)			50	50	100%			
H29-			50		50	100%						
国際課	—	—	—	長崎県内の高校生	50							
取組項目 iii	○	国際交流協会助成事業費	13,529	10,770	1,595	(公財)長崎県国際交流協会が実施する地域の国際化に向けた関係事業(国際理解講座、海外移住事業、外国人支援事業など)について、その一部経費を助成した。	【活動指標】 国際交流イベント、理解講座開催数(回)	18	8		44%	●事業の成果 ・新型コロナウイルスの影響により、各種講座やイベントが中止となるなか、オンラインでの実施に切り替えるなどして対応したが、目標達成には至らなかった。 ・県民の国際理解を深めるため、様々な国の文化に触れる機会を提供しており、本県の国際交流促進に寄与している。
			12,550	9,926	1,565			13	4		30%	
			14,772	11,455	1,570			13				
		—			【成果指標】 国際交流イベント、理解講座参加者数(人)			460	669		145%	
H2-			385	46		11%						
国際課	—	—	—	(公財)長崎県国際交流協会	385							

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

#### i 友好都市等との関係強化と相互交流の拡大

##### ●実績の検証及び解決すべき課題

新型コロナウイルス感染症の影響により対面での交流は実施できなかったものの、オンラインで交流事業を行い、友好都市等との関係強化及び相互交流の拡大に努めた。今後も、これまでに築いてきた友好都市等との交流ネットワークをさらに強固なものにしなが、人的・経済的交流の拡大に波及させていく必要がある。

##### ●課題解決に向けた方向性

今年は、本県と上海市との友好交流関係樹立25周年及び湖北省との友好交流関係樹立10周年にあわせた各種記念事業等を実施することで、中国友好都市等との関係強化及び相互交流の拡大に繋げていく。

コロナ禍で対面での交流が難しい中においても、これまで築いてきた友好交流関係をより強固なものとしていくため、オンライン等を活用した新たな交流を推進していく。

ii	<p>地域における多文化共生の推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 県民の国際理解を深めるため、国際交流員による語学講座や国際交流フェスティバルの開催などに取り組んだ。県内在留外国人数は増加傾向で推移しており、引き続き、外国人が地域社会の一員として安心して生活できる環境整備を推進する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 県民の国際理解の促進や有用な情報の提供など、関係機関と連携し、外国人が安心して生活できる環境整備を推進する。</p>
iii	<p>民間団体等が取り組む先駆的な国際交流活動への支援</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 国際交流協会において、民間国際交流団体2団体に助成金を交付する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、助成団体の事業が実施できなかった。先駆的な国際交流活動を行う新たな団体からの国際交流事業補助への申請が少ない状況にある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 支援要件の見直しを図るとともに、新たな団体の掘り起こし及び支援制度の更なる周知を図る。</p>

#### 4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名 事業期間 所管課(室)名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	東アジア相互交流推進事業費 H27- 国際課	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での交流が難しい中でも交流を拡大できるよう、ICT等を活用した新たな交流を実施。 また、朝鮮通信使及び朱印船貿易等、本県の特色ある歴史・文化を活用した交流事業を強化した。	⑨	友好交流関係にある国・地域において、これまでの取組で得た人的ネットワークを活用しながら、引き続き国や地域ごとの特性に応じた情報発信等を実施するとともに、コロナ禍で培ったオンラインでの交流実績を活用しながら、交流拡大に向けてより効果的な取組を推進していく。	改善
		2	日韓海峡沿岸交流事業費 H4- 国際課	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、知事会議の本体会議を中止し、オンラインで各地域の新型コロナウイルス感染症対策について情報共有を行った。 未だ、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく対面での会議は難しい状況にあるが、今年度はコロナ後の交流も見据えながら、オンラインで知事会議の本体会議を実施予定。	—	引き続き、日韓海峡沿岸県市道交流知事会議を開催するとともに、これまでの共同声明による合意に基づき、広域観光協議会事業、日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃事業等、共同交流事業を継続して実施する。	現状維持
	3	中国友好都市周年記念事業費 (R3新規)R3 国際課	R3新規	—	—	終了	
	4	日中・日韓水産関係交流促進事業 H16- 漁政課	中国及び韓国ともに対面での交流を希望しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での交流が難しい中でも交流を維持できるよう一部でオンラインを活用した交流を実施予定。	⑨	本県と水産資源を共有している中国、韓国と良好な交流協力関係を維持していくことは重要であるため、新型コロナウイルス感染症終息後は、中国、韓国と対面での交流を前提とした国際連携を図るとともに、国内会議については一部オンライン化を検討する。	改善	
取組項目 ii		5	長崎県ゆかりの外国人ネットワーク推進事業費 H20- 国際課	県内在住の外国人向けの情報発信を強化するため、Facebookでの県内情報の記事掲載回数を増やした。	⑨	引き続き、多文化共生社会の実現に向けて有用な情報発信に取り組むとともに、本県ゆかりの外国人と双方向の情報交換ができ、さらには当該外国人に本県と海外との交流の繋ぎ役となってもらえるよう仕組みの見直しを図る。	改善

取組項目 i iii	6	国際交流関係連絡調整費	日中親善協議会が実施する事業において、昨年度は墓地清掃や卓球大会など新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、今年度は室内で実施する卓球大会は中止するものの、野外で行う墓地清掃などは感染症対策を十分に行い、実施していくこととしている。	—	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、福建省、上海市、湖北省、釜山広域市をはじめ、中国・韓国両国との友好交流促進のため各種連絡調整を行う。 また、長崎県日中親善協議会が実施する各種交流事業についても、引き続き適正な事業ができるように支援を実施する。	現状維持
		S48-				
		国際課				
取組項目 ii	7	海外技術研修員受入事業費	—	—	引き続き、南米等の派遣国と本県の友好親善・経済交流の促進を図るとともに、必要な技術の修得により、派遣国の発展に寄与する人材の育成に貢献する。	現状維持
		S48-				
		国際課				
	8	語学指導等外国青年招致事業費	—	—	JET青年の大半を占めるALTについては、昨年度、小学校で「外国語」が教科化されたこともあり、従来以上にその活躍が期待されており、CIRについても、各自自治体における国際経済活動の活性化に伴いその役割が増し、今後もJET青年のスムーズな招致や市町のサポートに取り組む必要がある。 また、県内市町や各団体への本県CIRの出前講座についても、引き続き実施し、本県の国際化を推進していく。	現状維持
		S62-				
		国際課				
	9	地元で頑張る国際人材育成・活用プロジェクト推進事業費	令和2年度は「世界へこぎだせ！長崎予応援事業」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、令和3年度については、コロナ禍でも開催できるよう、オンライン開催に変更した。	⑨	引き続き、地元で頑張る若者の育成及び国内外において本県の応援団となり得る人脈を構築するために、コロナ禍で培ったオンラインによる交流手法も活用しながら、より効果的な実施方法を検討し、民間におけるアジア・国際戦略の担い手を育成する。	改善
		H29-				
		国際課				
取組項目 iii ○	10	国際交流協会助成事業費	外国人に対し、より多くの正確で分かりやすい情報を届けるため、翻訳機能を有するホームページにリニューアルし、情報発信の充実を図った。 また、新型コロナウイルスの影響により、対面での各種講座やイベント開催が困難となる中、ICTを活用し、県民の国際理解促進の機会作りに努めた。	⑨	県民向け国際理解講座や国際交流フェスティバルの開催など、長崎県国際交流協会が実施する各種事業を通じて、本県の多文化共生の地域づくりが促進されるよう、引き続き支援を実施する。	改善
		H2-				
		国際課				

注：「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点